



令和7年 鶴見川舟運プロジェクト外田組

現代のようにトラックが無く道路が整備されていなかった頃は、

**鶴見川舟運
復活プロジェクト**

歴史ある新羽には、古くからの伝統を守り活動する団体が数多くあります。新羽地区社会福祉協議会は、皆様からお預かりした賛助会費から助成金を経て、歴史を未来に続ける活動を補助しています。

その中から、今号は「鶴見川舟運復活プロジェクト」（本年度社協顕彰者団体表彰受賞、「注連引き百万遍保存会」、「大新羽音頭普及会」を紹介しします。

新羽の伝統を守る力



ふくしの和

第41号

発行 新羽地区社会福祉協議会



午の折紙

舟で人や荷物を運ぶ『舟運（しゅううん）』という文化がありました。鶴見川でも舟運が盛んで新羽という地名は 荷場（には）から名付けられたと新羽杉山神社の石碑にも刻まれています。

鶴見川に小舟を浮かべることができたなら、文化の継承になるという思いから「鶴見川舟運復活プロジェクト」を平成19年（2007年）に発足させました。

現在の活動として、鶴見川で自分達が作成した和舟に乗ります。年に数回、地域の子どもたちに乗船体験をしています。また新横浜公園の一角に水田を作り、毎年もち米を作っています。田植えから始まり、秋の稲刈り。稲刈り後の稲わらは地域伝統行事の「わらへび保存会」でのわらへび作りの重要な材料に使い、脱穀した米は子

どもたちに餅つき体験を行っています。

鶴見川や水田などでの自然観察会も開催し、子ども達に自然に接する機会を与え、地域文化を楽しんでいます。

地域ケアプラザや鶴見川流域センター（小机駅近く）で舟運や治水の歴史の解説、ミニ和舟の展示などの学習支援も行っており、今回表彰となりました。

大新羽音頭普及会

昭和30年（1955年）、鉄筋コンクリート製の亀甲橋（かめのこばし）完成を記念して作られた「新羽音頭」は野路當作 作詞・松井健祐作曲です。地域の人が野菜や花の名前を入れて欲しいと注文をつけ出来たもので、「新羽音頭」は各町会の盆踊り等で歌い、踊られ続けてきました。

しかし年を経て、新羽の町も地下鉄が通るなど大きく様変わりし、それまでの歌詞とは実情がそぐわなくなりました。そこで平成16年（2004年）に中山宏作詞・うすいてつお作曲・小山米子振り付けの「大新羽音頭」が新たに作られ、現在に至っております。



令和7年8月16日 新羽町サマーフェスティバル

「大新羽音頭」は10年程前、曲としては歌うことが出来ても、踊り手が少なくなり一時期途絶えそうになってしまい、当時の町会有志が保存会を作り、振り付けも次世代に引き継げるように踊り手も増やしていきました。

コロナ禍前は、新羽小学校児童に振り覚えてもらい運動会等でも踊ってもらいましたが、コロナ禍で活動が出来なくなりました。

コロナ明けから名前を「普及会」として地域の方への踊りの継承に精力的に活動を始めました。会員はおおよそ30名、月に1回の新羽地域ケアプラザでの練習会を行っています。

今年はおそろいのTシャツを購入し、新羽サマーフェスティバルや健民祭で踊ることはもちろん、

保育園や老人保健施設・小学校への出前事業などで講習会も開き、地域の方などへ踊り手を増やしています。

新羽音頭も大新羽音頭も「みんな輪になって踊れ」とあります。これからも地域の方に末永く継承していくことの助けになるよう活動してまいりますので、月1回の練習会や祭り等で、ぜひみなさまも踊ってください。

大新羽音頭

- 一、みどり豊かな亀の甲山に
小鳥歌えば夜が明ける
はずむ種まき畑に田んぼ
やがて花咲く実もつける
新羽新羽新羽新羽すめヨヨヨ
サーサーにこにこ輪になって
大新羽音頭でソレソレソレ
みんな踊れみんな踊れ
- 二、今も昔も変わらぬ寺に
花を咲かせて春を呼ぶ
盆の踊りはあやめの浴衣
秋の祭りはひがな花
新羽新羽新羽新羽すめヨヨヨ
サーサーにこにこ輪になって
大新羽音頭でソレソレソレ
みんな踊れみんな踊れ
- 三、市営地下鉄高速道路
語る歴史の鶴見川
先輩の教えを心に刻み
知恵をしぼって街づくり
新羽新羽新羽新羽すめヨヨヨ
サーサーにこにこ輪になって
大新羽音頭でソレソレソレ
みんな踊れみんな踊れ

こんなにもある 地域の踊り

新羽町には大新羽音頭があるが、他の地域にもご当地音頭が数多くある。各地区社協のみなさんの協力で、一覧にしてみました。

地区名	踊り名
高田地区	高田音頭
新吉田地区	新吉田音頭
城郷地区	小机音頭
城郷地区	岸根音頭
菊名地区	菊名音頭
綱島地区	綱島音頭

古いものは戦前から、ごく最近作られたものまで歴史もそれぞれ。こちら以外にもまだまだありそうです。

主に町内盆踊り大会、夏祭りにて踊られています。他の地域の踊りも体験してみたいはいかが？



新羽音頭 旧歌詞

- 一、ハアー 花の新羽はネ
花から明けてヨ
はずむ種まき 畑から 田から
春が来る来る 歌で来る
春が来る来る (囃し) ソレ サーサ
ここにこ パツと輪になって
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ
- 二、ハアー 汗のダイヤでネ
仕事着飾るヨ
あの娘 水仙
わしゃ チューリップ
男ミヨウガで 割るスイカ
男ミヨウガで (囃し) ソレ サーサ
ここにこ パツと輪になって
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ
- 三、ハアー ハスのうま煮でネ
見通し聞いてヨ
清浄野菜は 日本の本場
晴れの折り紙 日本の本場
晴れの折り紙 付けて出る
(囃し) ソレ サーサ
ここにこ パツと輪になって
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ
- 四、ハアー 台ヶ谷戸からネ
新田かけてヨ
祭り太鼓が ドンと鳴る宵は
胸も鳴るのよ
胸も鳴るのよ 踊るのヨ
(囃し) ソレ サーサ
ここにこ パツと輪になって
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ
- 五、ハアー 粋な気づぶでネ
ホウレンソウでヨ
増える子かぶに 亀の子山の
月もぬれます 鶴見川
月もぬれます (囃し) ソレ サーサ
ここにこ パツと輪になって
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ
- 六、雪の下でもネ
スイートホームヨ
積んだ依に 夢見る朝は
新羽銀座の あすを呼ぶ
(囃し) ソレ サーサ
ここにこ パツと輪になって
新羽音頭で
みんな踊れ みんな踊れ

(1974年4月レコード化
東京・銀座 高速商会)

注連引き百万遍保存会 (しめひききやくまんべん)

江戸時代よりこの新羽町中之久保地区に伝わってきた行事です。天保時代(1830年)、飢饉(ききん)などで多くの村人・特に子供が亡くなったことから、お地蔵さんを作り、各家を回り念仏を唱えました。また屋外では疫病や悪いことが入ってこないようにと願い、手に入れやす



かった藁で大蛇を作り、地区の入り口のヒイラギの木に巻き付けました。

横浜市の無形民俗文化財に指定され、現在は中之久保地区住民のみならず、保存会を立ち上げ広くメンバーを集い、毎年10月には長さ4m越の大きな藁蛇を作っています。作られた大蛇は、新羽小・新田小・新羽中・杉山神社に奉納され、地域を見守っています。



完成品

また、新羽小3年生に1人一匹の小さな藁蛇を作る行事にも協力し、新田小児童の大蛇作りの見学やへび作り指導などで、子ども達や保護者の方に地域文化の継承を行っています。

制作:新羽高等学校 ボランティア部

新羽サマーフェスティバル

令和7年 8月16日(土)

新羽の伝統を守る活動に、みなさまの参加をお待ちしております。

舟運復活プロジェクト
和舟の漕ぎ手、米作りのお手伝い募集中 自然の中での作業は楽しいですし、癒やされますよ。舟に乗ったり、田植えで泥に足をいれることなど、日常では経験できないことを、子ども達と一緒にいきましょう。
問い合わせ先: ホームページまで

大新羽音頭普及会
新羽地域ケアプラザにて月1回ほどの練習日があります。回覧板、掲示板、新羽地域ケアプラザにチラシがありますので、予約なしで参加可能です。幼児から高齢の方まで年齢、性別関係なく、一緒に楽しく踊りましょう。
大新羽音頭動画

注連引き百万遍保存会
主に西方寺(新羽町2586)境内にて、百万遍念仏法要と藁へび作りをしています。主に9月~11月の中で数回の活動です。新しい藁の香りに癒やされながら、歴史の一步を一緒に紡いでください。藁に触ったことがない人でも大丈夫。周りの方が丁寧に教えますので、ご安心を。
問い合わせ先: 西方寺またはホームページまで



新羽地区健民祭 2025

10月19日に開催



町内会対抗にせず、だれでも参加できる競技を実行委員会が考えた《あたらしい形の健民祭》が今年も無事開催された。8時半〜13時 新羽中学校校庭にて

プログラム 1) ラジオ体操 2) 50m徒競走 3) 親子でよーいどん これだけは未就学児と保護者のみ参加可能 4) 段ボール競争 5) 玉入れ 6) 新羽の輪(バケツリレー) 7) 大新羽音頭 8) 綱引き 9) リレー(オープン) 10) 防災ウルトラクイズ 11) RUN伴

赤チームと白チームに分れて
4) 段ボールの中でハイハイしながら進むよ。頑張れー エッホ エッホ、曲がるなよー
5) ボールが軽いから、簡単に投げられるよ。大人のほうが真剣、集中、負けないぞ
6) 火事だー、バケツリレーで火を消すぞー!! バケツに山盛りのカラーボールを慎重に落とさな

いように。あー落ちた。急いで拾って。隣に並んだ方と「初めまして」笑顔があふれて心もひとつ。新羽の輪が繋がった。

7) 校庭いっぱいには二重の輪。そろいのTシャツの保存会のみなさんをお手本に。小さい子だって曲にあわせてびよんびよんびよん
8) 力持ちじゃなくてもいい。小さい子から年配者まで それオーエスオーエス。
9) リレーだって自由参加。その時に集まった方々全員で大人も



子供も男女もバラバラ。15名ずつで3チームでの対抗戦。1人半周での走りに、おおいに盛り上がりました。

11) 初めての競技。認知症の方や周りでサポートする人たちのマラソン。詳細はケアプラザからの報告で。



実際の お祭りの様子

→新羽高校ボランティア部の生徒さんと先生が、サマフェスに参加されて写真を撮ってくださいました。

「認知症の人もそうでない人も、タスキと共に想いを繋いだRUN伴につば」

横浜市新羽地域ケアプラザ
地域活動交流コーディネーター

村井田 優子

新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウスでは、認知症になって、令和二年より、「オレンジの輪プロジェクト」として上映会や講演会、認知症や介護の不安や悩みをおしゃべりするオレンジカフェ、などを進めてきました。そして今年からはチームオレンジNIPPAとして、認知症本人や家族の希望の実現や困りごとの解消に向けて話し合っていく「オレンジミーティング」と認知症の方と一緒に走ってタスキを繋ぐ「RUN伴(とも)」を実施することになりました。ここではその「RUN伴」についてご紹介いたします。

RUN伴とは、認知症の人と一緒に走る(歩く)体験を通じて、認知症を知り、ひとりひとりができることを考えるというもので、全国各地で行われているイベントです。認知症が世界的な社会課題として注目が集まる中、このRUN伴が目指す活動に賛同する市町村、自治体が増え、日本各地でRUN伴が実施されています。新羽も誰もが安心して暮らせる町づくりの一つの方法として、スポーツ推進員や青少年指導員、地域有志の協力の元、健民祭とコ

ラボという形で「RUN伴につば」を開催することができました。コースは新羽地域ケアプラザから、中継地点として場所を提供くださったDEPO新羽町、ニッパ株式会社を経由しながら、新羽中学校までの約一キロの道のりを歩き、最後は新羽中学校で開催されている健民祭参加者の皆様と校庭を一周歩いてゴールしようというものです。

参加者は、地域の皆様、福祉関連事業所や郵便局、認知症のグループホームの方など、老若男女四十二名にもなりました。杖を突いて歩く方もいれば、未就学児のお子さんもいて、さらには雨が本降りになることもありましたが、誰一人、途中棄権することなく中学校への坂道を上りきると、最後は会場からの盛大な拍手に迎えられ、みんなで感動のゴールを果たしました。

参加してくださった認知症ご本人も「楽しかった」「来年も歩けるよう頑張る」と本当に喜んでく



ださりと、一緒に歩いた他の参加者の方々も「次は仲間も連れてくるよ」「認知症の理解啓発と一緒に歩くお手伝いだと思っていただけ、純粹に自分が楽しかった」「認知症に関するものを新羽の町で一体感を持ってできて良かった」と感想をいただきました。そして認知症ご本人のご家族は「認知症になると参加できるものが減ってしまう。でもRUN伴は、たくさんの人と一緒に楽しめる素敵な機会だった」とおっしゃってくださいました。

RUN伴は認知症になったら終わり、ではなく、認知症になってもできることがある、認知症の人と一緒にできることがあることに気づくイベントです。そしてそのでの気づきによって、誰もが暮らしやすい地域づくりを、認知症を生きる人達と一緒に考え、地域が共に生きる日常へと変わって行くことを目指しています。RUN伴につばでも「認知症の人々と出会う・繋がる。」「認知症をジブンゴトとして考える」「それぞれができるアクションをとる」ことに繋がればよいと思います。オレンジ色の集団をみて、なんだろうと

興味を持った方や、認知症の人のためにできることは意外と身近にあるのかもしれないと気づいてくれた方もいるかもしれません。この機会が新羽の町がよりつながりあい支え合い、誰もが安心して自分らしく暮らせる、誰にとっても優しい社会へと広がっていくこと願っています。

最後に、ご参加、ご協力をいただいたすべての皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。



新羽地区
「コムで飛ばす紙ヒコキ」
制作講習会が開催

10月13日、新羽中学校にて「コムで飛ばす(カタパルト)紙ヒコキ」の制作講習会が行われ、新羽小学校の児童17名が参加しました。

当日は、コミュニティルームで、専用の型紙を使った紙ヒコキづくりに挑戦!



ハサミでのカットやのり付け、紙やすりでの仕上げなど、細部まで丁寧に作業を進めました。飛行の安定性には左右のバランスが重要なため、参加した児童たちは真剣な表情で取り組んでいました。制作後は体育館にて飛距離の測定を実施。今回の最長記録は、加藤君(3年生)による12・21mでした。

参加者からは「思ったように飛ばなくて残念だった。もう一度丁寧に作り直して本大会では満足のいく結果を出したい」との声もあり、本大会への意欲が感じられました。

なお、参加者は11月2日(日)に港北スポーツセンターで開催される本大会に出場予定です。大会では飛距離部門とデザイン部門の2つで競技が行われます。児童たちの工夫と努力が光る作品に、ぜひご注目ください。

新羽杉山神社例大祭の様

例年10月6日は、新羽杉山神社（新羽駅徒歩6分）で秋のお祭り「例大祭」が開催されます。夕方には参道に夜店が並ぶので、子どもから大人まで世代を超えて楽しめます。

あまりご存じでないかもしれませんが、階段を上った本殿横では、夜6時から演芸の催しがあります。小学生からミドル世代まで幅広い参加があり、大新羽音頭普及会の踊りがあれば、小学生のキッズダンス、ウクレレの演奏に若いグループのバンド演奏、阿波踊りに詩吟、カラオケとバリエーション豊か。観客も大いに盛り上がって楽しんでいきます。

来年の10月6日には、夜店が並ぶ参道から演芸の観覧にお越しください。当日の飛び入り参加も可能ですよ。



新羽町町内会、今年も防災訓練を実施
—座学と実地訓練で災害時への備えを再確認—

新羽町町内会は9月6日、町内会理事を対象にした防災訓練を実施した。訓練は毎年恒例となっており、今年も新羽町町内会館で行われた。

訓練の前半は、横浜市が提供する「横浜防災eパーク」の動画を活用した座学。リチウムイオン電池火災への対策や風水害への備え、熱中症対策など、身近なリスクに対応するための知識を学んだ。また、新羽町町内会の防災拠点として指定されている新羽小学校区、新田小学校区の拠点についての説明も行われた。



後半は実地訓練に移り、

AEDや水消火器の取扱訓練のほか、三角巾の代わりにレジ袋を使った応急手当訓練、湯煎



新羽の子どもたちを守る力
こどもと保護者の
居場所づくりを紹介します。

新羽地域ケアプラザ・プレイルーム
コミュニケーションハウス
新羽地域ケアプラザ・コミュニケーションハウスの2階にあるプレイルームは、赤ちゃんから未就学児の親子がいつでも気軽に利用できる遊び場です。絵本とおもちゃが



あり、おむつ交換や授乳ができるスペースもあります。利用は無料で、事前予約は不要です。

その他、毎週水曜日午前は子育て支援者による「子育て支援者会場」になります。あかちゃんを遊ばせながら気軽に子育ての相談ができ、不安なことや悩んでいることを一緒に考えてくれます。地域の親子が集まりますので、友達づくりもできます。雨の日や暑い日、寒い日、おむつ替えや病院の待ち時間等にも気軽にご利用下さい。

月曜日～土曜日 朝9時～夜9時
日曜日・祝日 朝9時～午後5時
休館日 毎月第4月曜日・年末年始



訓練終了後は、町内会館で炊き出しが行われ、訓練で炊いたご飯を使ったカレーと豚汁が振る舞われた。参加者からは「実際には「実際に体を動かすこ



パックを使った炊き出し訓練など、多様な実践を通して災害時の対応を体験した。

とで、いざという時の対応を具体的にイメージできた」といった声が聞かれた。

新羽町町内会では「地域全体で助け合える体制づくりを続けていきたい」としており、今後も継続的な防災活動に力を入れていく方針だ。

子育てサロン たんぽぽにっば



1才くらいから未就学児までのお子さんと保護者の皆さん、どこで遊ぼうかな？と思ったら「たんぽぽにっば・たんぽぽきたにっば」があります。家ではできないような制作活動をして季節を感じたり、フリースペースの日はおしゃべりを楽しんだり。そこで新しい仲間と繋がれたら嬉しいです。

子どもとワイワイしていた母たちが今やボランティアスタッフで活動しています。一緒に遊びましょう。笑いましょ。アットホームな空間でのんびりゆったりできる「たんぽぽきたにっば」にもどうぞおこしください。愉快なスタッフがいっぱいお待ちしております。地域の皆様 いつも温かく見守ってくださいありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願致します。

子育てサロンたんぽぽにっば
造形あそび 日時：毎月第2火曜日 10時～11時 場所：新田公園
公園あそび 日時：毎月第3火曜日 10時～11時 場所：新田公園
きたにっば 日時：毎月第1土曜日 10時～11時 場所：新田公園
フリーあそび 日時：毎月第4火曜日 10時～11時 場所：新田公園
対象：1歳～未就学児 無料、お申し込み不要
※この会場の使用料は別途お支払いが必要です。
子育てサロンの開催はございません。
お問い合わせ：新羽地域ケアプラザ 045-542-7207
〒245-0292 新羽地域ケアプラザ 新羽地区社会福祉センター



たんぽぽにっば



たんぽぽきたにっば



横浜市立新羽小学校
校長 佐藤 恵子

五十年目の節目に

謹んで初春のお喜びを申し上げます。地域の皆様には、日頃より学校教育へ温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昭和五十二年四月一日の開校以来、新羽小学校は地域の学校として、皆様にしっかりと支えられてきました。特に安心安全な周辺環境の整備と和のまち新羽のまちづくりには、多大な恩恵を受けてきました。

新羽小中が並ぶこの丘陵地帯は、学びの場にふさわしい環境が整っています。どこまでも続く空、静けさ、四季折々の花々と生き物たち。これらは子どもたちの豊かな心の育成に大いに役立っています。「広々としたこの場所でも子どもたちに伸び伸びと育ってほしい。」と、学校創立にご尽力いただいた方々の思いが伝わってくるようです。

新羽小学校は、令和八年に創立五十周年目を迎えます。これまでの感謝の思いを未来の希望へとつなぐ節目の年です。新羽のまちのよさ、新羽小の強みを生かして、未来社会の担い手となるような子どもへの育成に取り組んでまいります。

地域の皆様、本年も子どもたちの成長を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

世界を変える大きな一歩

新羽小六年 手塚詩織

私は以前、「女だからスポーツは好きじゃない」という発言をうけました。私はその時、その言葉に「女の子でもスポーツを好きな人もいるじゃない」と思いつても不愉快な気分になりました。他にも日常生活で「男だから」、「女だから」という発言をよく耳にします。

私はその時、「ジェンダー平等」という言葉を思いつかれました。「ジェンダー平等」とはSDGsの5つ目の目標です。正式には「ジェンダー平等を実現しよう」

です。「男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう」という意味です。あなたは「ジェンダー平等」を意識できていますか。

男女の地位の差を数値であらわした「ジェンダーギャップ指数GPI」というものがあります。2021年度、日本は156か国中、120位と男女の地位の差がとても不平等だということになります。

実際に世界では「労働力にならない女性」は家で家事や子育てをしていなければならないや「女性には教育は必要ない」という考えが根強く残っている国々がいまだにあります。私はそんな意見に反対です。な

ぜならそれは女の子だからという決めつけの意見にすぎないからです。私は「女の子だから」、「男の子だから」と決めつけるのではなくその人の個性を大事にすることによって決めつけの意見で傷つく人が周りにいなくなると思います。そして、その行動は「ジェンダー平等」を実現する大きな第一歩になると私は思います。例えば「女の子だから」、かわいい服がいいとあなたは思うかもしれませんが、いい服が好きなのかもしれない。だから決めつけるのではなく、その人の個性を大事にして接していくことが大切なのです。

児童福祉について(佐藤校長先生より)

テーブル贈呈式

10月2日(木) 9時~

~特別支援教室「たけのこルーム」への備品贈呈の報告~

新羽小学校 佐藤校長先生と『令和7年度児童福祉事業』について協議し「レイアウト自在の台形テーブル」を特別支援教室『たけのこルーム』に設置したいとご要望がありました。よって今年度の児童福祉の事業として、台形テーブル3台を助成しました。

佐藤校長先生からのお便りです。

新羽小学校の特別支援ルームを利用する児童にとって、使いやすい落ち着ける場所となるよう、試行錯誤しながら整備を進めているところです。今回お話しした「台形テーブル」は二つ組み合わせると六角形、四つ組み合わせると三角のテーブルになり、組み合わせ方でさまざまな形の大きなテーブルになります。その場その場にあった合理的な使い方ができ、子どもの発想で自分たちが使いやすい環境づくりを楽しめるところが、最も優れた点だと思いました。

毎年、本校児童の学習環境整備に多大なお力をいただき、職員一同心より感謝申し上げます。



新年のご挨拶



横浜市立新田小学校
校長 村岡 靖

「ジェンダー平等」と聞くと難しいと思うかもしれませんが、しかし、「女だから」、「男だから」と決めつける発言をしない、そのたった一つの行動をするだけでいいのです。そのたった一つの行動だけで誰も傷つけないで済むのです。どんなに小さな、どんなに簡単な行動でもいいです。その行動を世界中のみんながすることによってこの世界から差別を無くすことができます。私は思います。

新年あけましておめでとうございます。新羽地区の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、本校の教育活動に常日頃よりご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。私が新田小学校に着任して、今年で5年目となります。新羽地区の皆様と自然豊かなこの地域が大

好きです。横浜駅からほど近いこの新羽地域に、これだけの豊かな自然と歴史があること、本当に難しい事だと感じます。

新田小学校の子どもたちは、温かいこの地域の皆様に支えられて成長することができています。そして緑多い自然豊かなこの新羽で、のびのびと、そして生き生きと子どもたちは日々生活できています。本当にありがとうございます。

このすてきな地域とともに歩む学校をめざして、職員一同、質の高い教育活動を推進していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

少しでも事故にあわないためには

新田小六年 金子朱璃

私は、この町が好きです。学校に行く時には一人親がついて来てくれます。地域の方達が挨拶してくれます。そんな安全な町です。でも7月頃、家の近くで事故がありました。そこで私は少しでも事故にあわないように対策を考えました。

一つ目は、信号無視をしないことです。信号無視をしてしまったら、歩行者が危険になってしまいます。

歩行者が信号無視をして、人を車が轢いてしまっても車側が悪くなってしまう。安全な町にするために信号無視は絶対にしてはけません。

二つ目は、安全確認をしつかり

行うことです。道路をわたるときには、止まって左右の安全を確認してわたることが大切です。

本当に事故はこわいです。事故にあわないために自分にできることを考えてみてはいかがでしょうか。

あいさつで明るい町に

新田小六年 林海晴

みなさんは、生活の中でどのくらいあいさつをしていますか。「あいさつ」と聞くと、「おはようございます」や「こんにちは」などの時間帯のあいさつを想像する人が多いと思います。しかし、あいさつには「ありがとう」や「お願いします」といった感謝や依頼の言葉もあるのです。

私は登校している時、横断歩道に先生が立っていたので「おはようございます。」とあいさつをしました。すると先生が笑顔で「行ってらっしゃい。」と言ってくれて、私は良い気持ちになりました。

そんなやりとりがもっと増えたら、笑顔も増えて、今よりも明るい町になると私は思います。ふだ



んから友達や家族、近所の人、地域の人たちにあいさつすることを心がけて生活していきたいです。

お年寄りに優しい町

新田小六年 南綾野介

ぼくは、最近高齢者が非常に増えてきていることを知りました。そして、その高齢者が安全に生きていける町にしていきたいと思いました。そのためには、若者も高齢者もたがいに協力して生活して

いく習慣をつけていくことが大事になっていき、自分も相手も、若者でも高齢者でもうれしい気持ちになる町をつくりたいと思います。このようなことを実現できるように意識すべきことをぼくは考えました。

つまりこの町にいてうれしいという気持ちが浮かび上がってくると思っています。二つ目はコミュニケーションです。人と人とのつながりについて、まず考えられるのは話をする事だと思っています。だから、町の人があいさつといった身近な話題でしゃべることができるようになったら、先ほどと同じく協力し合えるようになると思います。高齢者も若者と身近な話題で話ができるとうれしいという方も多いと思います。コミュニケーションが

令和7年度 顕彰者表彰受賞者のご紹介

地域福祉活動功勞 表彰者 細野 雄平さん(故人) 和田 時枝さん

ボランティア活動功勞 表彰者 下村 留吉さん



新羽町町内会 細野雄平さん

新羽地区社協の一員としての関わりは平成21年度より。評議員にて始まり、平成27年度には新羽町町内会長になりました。新羽地区社協理事として地区社協運営に携わっていただきました。平成30年度からは新羽地区社協の監査として、常務理事会などでの業務監査・会計監査を令和7年度まで長きにわたり務めて頂きました。



大竹町町内会 和田時枝さん

色んなボランティア団体に多数ご参加され、お優しい笑顔とフットワークの軽さで、行事や文化継承に大変ご活躍されました。環境事業委員として、80歳になられるまで20年間という長きに



新羽町自治会 下村留吉さん

新羽地域ケアプラザからの推薦で受賞となりました。ケアプラザ前の花壇の手入れを令和2年から行って頂いていいます。地下鉄ガード下のプランター(新羽の未

物前の花壇の手入れをしてくださいました。暑い日にも欠かさず水まきに訪れ、花の植え替えや、剪定・草むしり、土壌改良など、細やかにやってくださっています。

渡り、町内会の美化運動活動をサポートしていただきました。町内会活動でも積極的

に行事参加やお手伝いを頂き大変感謝しております。

令和7年度「社会を明るくする運動」 標語コンクール 優秀作品

新田小学校

●この街は あいさつとび交う

5年 池 亮祐

新羽小学校

●ありがたい 感謝の気持ち 忘れずに

6年 野際 優澄

新田中学校

●守りたい あなたがくれた その言葉

3年 上田 陣

新羽中学校

●大丈夫？ その一言で 救われる

1年 大口 蓮人

●みやくみやくと 続くよ君の 思いやり

3年 山口 兜翔

●つきささる 言った言葉は もどせない

5年 小林 陸

●まあいっか そんな気持ちで 悪になる

6年 中村 翔



横浜市立新羽中学校
校長 豊澤尚弘

穏やかな風に育まれて

いろいろな人とできるような町になれば、相手を頼ることができるようになるので信頼をおくことができるようになると思います。
このように、高齢者が生活しやすい町にするためには、町の人の日常生活における習慣が大切になります。その習慣となる思いやりやコミュニケーションを大切にしていきたいでしょう。

新年あけましておめでとうございます。早いもので、新羽中学校に着任してもうすぐ3年が経とうとしています。日頃より、新羽中学校の教育活動に対し、地域の皆



さまから温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
地域行事や見守り活動を通じて、生徒たちは多くの学びと成長の機会をいただいています。新羽地区の穏やかな風土に育まれ、生徒たちも周囲に気遣いのできる温かな人柄に成長しています。学校は地域とともにあるという思いを、日々実感しています。本年も、生徒一人ひとりが安心して学べる学校を目指して、引き続き、地域

障害者が平等になるための鍵は

新羽中三年 岩間結菜

の皆さまと手を携えながら、生徒たちの健やかな成長を支えていきたいと思えます。
新しい年を迎え、あらためて新羽地区の益々の繁栄と地域の皆さまのご健康をお祈りいたしますとともに、本年も学校への変わらぬご支援をお願いいたします。

世の中には差別や偏見がある。差別や偏見で苦しんでいる人々がたくさんいる。そのうちのある人達が障害者だ。障害者とは日常生活において、相当な制限を受ける人々のことをいう。私達が当たり前にできている勉強、スポーツ、睡眠などをすることが障害者にとっては難しい。ハンデをもらっているのにも関わらず、差別、偏見以外にもいじめや虐待もさげやすい。障害自体をなくすことは私達にはできないが、このようなハンデをなくし自由、かつ平等に障害者の人々が生きられるようにするために私は二つの意見を提案する。

一つ目は障害者と接する際、健常者と同じように接することだ。特別扱いも遠慮もしなくていい。ただ普通にコミュニケーションをとることで障害者も安心でき、人間関係の築きや自己肯定感の向上が期待できる。
二つ目は障害そのものを理解し考えることだ。障害というのは様々な種類があり、状況はその人



神奈川県立新羽高等学校
校長 勝股 正

新羽高校50年目の感謝とご挨拶

によって違い外見だけではわからないこともある。そんな中でどのように対応すべきか自分で考え「普通の人だったらな」と思わずその人を理解することが重要だ。
この二つは意外と簡単だと思う人もいるだろうが、そう甘く見てはいけない。障害者とコミュニケーションをとることは相互理解を深め、よりよい社会を築くうえで必要不可欠だ。障害特性を一人ひとりが理解し健常者と同じように接することが差別や偏見を少なくする鍵となるだろう。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新羽高校が、新羽の地に創立されてから、今年でちょうど50年目となりました。地域の皆様から、50年間さまざまなご支援ご協力をいただけて参りましたことを心より感謝申し上げます。今年、一年を通じて創立50周年の様々な記念行事、記念事業を計画しています。昨年末から「まなびや基金」という、ふるさと納税の仕組みを使った、いわゆるクラウドファンディングも開始しています。詳細は、本校ホームページをご覧ください。
昨年は、夏から秋にかけて、短時間で猛烈な雨が降ること多く、川崎市武蔵小杉駅が冠水するなどの被害が見られました。新羽高

民生児童委員／主任児童委員 紹介

令和7年12月改選になりました。

(民生児童委員)

- 南町内会 望月千鶴・山崎智子・富井恵美子
- 中ノ久保町内会 秋本伸明(会長)・鈴木京子(副会長)
- 大竹町内会 平等ひとみ
- 中央町内会 米山健二・土岐頼延
- 自治会 欠員中
- 新羽町町内会 安江文子・迫 圭子
- 北新羽町内会 吉田恵三・大森幹夫
- クリオ北自治会 大場英俊
- (主任児童委員) 安保裕子・長瀬絵香

校の地理の授業では、新羽地区の地形図などを教材にしながら、地形や生活と環境について学ぶ単元があります。かつて浸水の多かった新羽地区も、浸水対策が進んで、最近では被害がめっきり減ったことを生徒たちは学んでいます。ひとえに、港北区と住民の皆さんが協力して水害防止に取り組まれてきた賜と思います。
生徒たちの多くは、新羽地区の外から通ってきていますが、こうした授業を受けながら、自分たちの学び舎のある新羽地区への理解を深めています。
これからの50年も、新羽地区の一員として、地域とともに新羽高校が発展していければと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

このたびは賛助会員の皆様に協賛を賜りましたお心遣いに、心より御礼申し上げます。

感謝の気持ちでいっぱいです。皆様の賛助会費は、地域福祉の原資として、児童福祉、在宅介護、各種地域団体への助成、研修、広報などに役立たせていただいております。児童福祉としては新入学児童を対象に黄色い帽子を推進しています。在宅介護としては新羽地区民生委員・児童委員協議会の協力を得て支援を必要とする方々の家庭を訪問しています。地域団体への助成としては新羽連合町内、新羽地区民生委員・児童委員協議会、新羽地区保健活動推進員、新羽地区青少年指導員協議会、新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会ほか多数の団体に助成しています。このように賛助会費は大切に使用させていただいております。今後も新羽地区社会福祉協議会の活動にご理解とご支援を御願いたします。

新羽地区社協会長 米山健二

◆南町内会

- 安保裕子、浅倉克彦、望月俊一、渡部隆夫、中村光子、中村剛、中村絵美、尾沼利夫、中村道雄、加藤和明、峯木隆、櫻井未央、中村勤、中村正義、中村慎吾、小山正博、望月健一、望月丈夫、望月薫、新横浜テクノヒルズ、小山耕太郎、ミナミ石油(株)、小山澄子、小山佑樹、森田美穂、田中孝幸、小山修司、望月秀夫、望月良一、峯木健一、峯木政雄、

(示) 専念寺、中村敬三、小山芳男、

- 小山豊、三橋雅久、望月要、武田高久、三橋浩二、長澤保茂、中山隆之、望月雄子、望月正儀、小山敏子、望月林蔵、(有)間野工務店、麻野仁、医療法人竹内会、安保広美、岡崎照、本間富子、中村稔、(有)フジトソー、中村忠夫、佐藤勝雄、コンドレーテック(株)、(有)富士製作所、(株)トーションコーポレーション、三和機材(株)、(株)サクライ、東洋洗濯機械(株)、マックス建材(株)、島田工業(有)、(株)ヨシダ精工、日本インカ(株)、富井恵美子、山崎智子、世界心道教南山教会、横浜北交通(株)、ラミコジャパン(株)、小林孝昭、(有)又吉製缶鉄骨工業、(有)ボウズ、(有)加邊製作所、大盛化工(株)、栄光デザイン&クリエーション(株)、(株)P・F工房、(株)オウル・クラフト、ヤマセ精機(株)、エステム(株)、山崎メツキ工研(株)、(有)佐々木工業、高周波熱処理(株)、(有)創和美装、(有)藤崎塗装工業所、(株)葵ダイカスト、山口精工(有)、DenDen、(株)川本製作所、(株)サ・カスタム、(株)かおる葬祭、ソートク工業(株)、新横浜名倉堂整骨院、(株)横浜システム、(有)三浦製作所、(資)おくさわや、(株)ニッセイ創美、ローソンスリーエフ北新横浜駅前店、(有)長谷川商店セブンイレブン、モジップ、エスタフロンテ、東原梢、(有)シンコート、武蔵工業(有)、片山歯科医院

◆中ノ久保町内会

- 齊藤貞弘、中野カツエ、小山正則、小林紘子、小原理機(株)、(有)羽黒製作所、河口久仁子、(有)新港精機製作所、(有)シヨウエイ精機、(株)サン

ジェルマン、(株)ミツハシ港北工場、(株)扶桑エンジニアリング、東

- 神商事(株)横浜工場、渡辺知恵子、田辺商事(株)横浜支店、(株)旭ネームプレート製作所、尾崎晴二、福祉クラブ生協さくら港北、(株)米山商事、丸重食品工業(有)、小山明、米山和廣、富士川幸男、小山幸義、小山泰男、甲斐工業(株)、秋本伸明、富士川実、富士川弘、小山健次、(株)ロジバックマルハチ、(有)小野電機商会、栗林裕司、渡邊幸子、神奈川ユニホーム、米山啓一、芹沢満男、小山洋、小山祐一、小山定雄、米山藤幸、小山秀夫、小山光雄、小山昌夫、小山芳幸、小山孝、佐藤建二、鈴木京子、東海林紀子、長谷川武明、堀内好子、岸二郎、五十嵐繁夫、小山武三郎、梅津辰雄、宮崎昭也、大柴正雄、荒川節子、西尾商店、長澤英雄、加賀谷省二、高橋稔、秋本貞夫、小園隆幸、古賀文人、アシード(株)横浜支店

◆大竹町内会

- 飯冨由美子、松村清見、小林菊江、中山大成、中山英雄、高橋美代子、(有)岸コーティング、秋元勝治郎、中山新一、(有)松阪電気商会、平等勝尊、和田国紘、新羽幼稚園、平等大智、平等ひとみ、伸栄通信(有)、東洋電源機器(株)、中山尚道、中山勉、中山政光、中山昌子、飯冨啓吾、武石貞信、中山正、中山明子、小野明、佐藤秀一、白岩金男

◆中央町内会

- 尾出清和、米山石油(株)、伊藤仁海、青山龍博、村田祇臣、米山富夫、米山泰、中村綾子、中村明、

村田由雄、村田知子、米山潤一、

- 小澤潔、大谷庄作、茂呂俊光、(有)ヨネヤマプランテーション、秋元正義、秋元孝之、土岐頼延、大戸孝英、藤巻伊佐夫、大角篤司、(株)ニューウイング小池裕、秋元和江、千保慶和、秋元昌夫、大森昭男、米山誉宣、秋元信雄、中丸莊一郎、岸芳雄、秋元真由美、秋本タカ、岸由貴彦、岸順一、秋元義顯、秋元明、中丸一夫、中丸秀子、佐藤忠夫、酒川國男、金澤等、秋山千代子、米山美代子、中山宏、尾出和彦、米山春男、柳下節子、岸常夫、小池信吾、柳下春治、齊藤俊文、米山幸、酒川正、柳下利男、佐藤良子、米山健二、東京アネクス物流(株)、(株)マルナカ、(株)石原興業、oisippiZZAYasan28二ハチ、松村整形外科、(有)鎌田工務店、ローヤルよつや、楓歯科クリニック、満天酒場新羽店、酒川弥一、秋本勝巳

◆新羽町自治会

- 豊岡修、磯部秀夫、八木克賢、樋之口直樹、柴田績、藤井静枝、高崎林治、畑貴美子、猪野伸吾、森秀雄、伊藤裕康、石井勇、高橋きんよ、塩山桃子、宮澤良男、秋元いみ子、名倉恵子、窪田裕之、小松賢吉、飯田美佐子、尾口致子、豊久定弘、高階清策、渡邊壮一、神尾宣好、川島弘、小泉千秋、鴻池守也、蒲生禮一郎、高梨静江、井出籠春喜、米山信市、坂本八重子、水谷和秀、和田美代子、

- 七ツ役きち子、吉田薫、佐藤文一、前田純江、ナイスアーバン横濱港北プロムナード、島岡克子、

新羽地区社会福祉協議会

会長	米山健二(中央)
相談役	大谷佐一(北新羽)
副会長	望月俊一(南)
常務理事	松村清見(大竹)
事務局長	尾出清和(中央)
事務副局長	秋本伸明(中ノ久保)
事務局長	安保裕子(南)
常務理事	齊藤貞弘(中ノ久保)
常務理事	飯冨由美子(大竹)
常務理事	豊岡修(自治会)
常務理事	富樫祐彰(新羽)
常務理事	大森洋一(北新羽)
常務理事	山岸千彰(クリオ北)
常務理事	鈴木京子(中ノ久保)
常務理事	望月千鶴(南)
常務理事	東原梢(南)
常務理事	串田雅子(中ノ久保)
常務理事	富井恵美子(南)
常務理事	吉田薫(自治会)
理事	中村勤(南)
理事	尾崎晴二(中ノ久保)
理事	中山新一(大竹)
理事	岸芳雄(中央)
理事	八木克賢(自治会)
理事	高橋良昌(新羽)
理事	秋元重雄(北新羽)
理事	鈴木敦夫(クリオ北)
広報委員	高橋良昌(新羽)
委員	望月千鶴(南)
委員	秋本伸明(中ノ久保)
委員	土岐頼延(中央)
委員	串田雅子(中ノ久保)
委員	平等ひとみ(大竹)
委員	秋本浩(北新羽)
委員	県立新羽高等学校
委員	ボランティア部、辻川生

綿谷尚久、佐野雅彦、青木一繁、秋元弘之、松本東五、松本須美子、小川清志、池田義春、池田守、野崎誠、田上新太郎、豊廣スミ子、岩崎恵子、山田京子、青木繁、内古昭好、山本義広、園家史朗、中里保雄、鈴木恵美子

◆新羽町内会
富樫祐彰、万寿留夫、平沢洋、福田佳子、安江文子、迫圭子、(株)デザートランド、(株)丸紀、田中喜世子、廣田有司、三邦産業(株)、大谷勇、(株)サンエス、大谷里士、今橋章徳、幸松浩幸、秋本孝、工藤朋子、渡部輝雄、(有)アライ電器、葉山幸一、真坂栄、富岡正行、鈴木正敏、ヘアーサロンクイーン、(株)アルプス物流、原和正、新保秀作、安達忠男、野村進、白川幸治、本間三夫、楠本アキ、杉原玲子、山本和弥、森下茂子、小林省治、高橋良昌、小形聡明、飯塚昭、菅沼秀記、大城明美、長瀬理恵、新羽町町内会

◆北新羽町内会
大森洋一、西山孝雄、西山裕一、秋元朝光、松井隆二、秋元重雄、西山正男、秋元秀子、高瀬喜美子、西山憲一郎、秋本賢一、秋本秀充、東急バス、はる動物病院、伊橋興業(株)、(株)大杉運輸、五元工業(株)、小林英子、小坂広子、西山壽枝、田中弘、秋葉康幸、峯木輝雄、秋本浩、齊藤武男、西山豊、飯島春夫、吉田茂、小山博之、望月敦司、金子政男、野口真佐子、野口進、小山幸夫、飯島公男、齊藤孝行、土岐良成、秋本恵美子、医療法人寛栄会カメラア、

山本健司、小山幸治、三栄精機(株)、(有)ナガサキ研磨工業、矢作ダイカスト工業、大谷朝光、西山良行、大谷勉、金子道男、萩原啓一、大森俊雄、米山景子、吉田明、大谷佐一、齊藤百合江、植野法絵、金子美津江、大森英司、大森光明、吉田弘、武田等、萩原實、小島稔、大森直紀、萩原裕行、金澤博、特別養護老人ホームニューバード、八田昇、大谷美知子、海川義人、西山佳子、金子賢一、金子高之、坂倉幹夫、金子泰男、坂倉アキ、金子方子、金子澄美恵、坂倉邦雄、金子節子、川島GIREESAN、高橋俊明、吉田陽子、坂倉正一、飯島正夫、金子勉、明石寿恵、望月充明、森雄、島田美樹、武元祐樹、西尾善政、鹿島清治、吉富輝浩、新堂隼人、萩原利典、吉田恵三、吉田隆男、中山稔、下田博、藤田久雄、石井隆、望月紀一、吉田清、長瀬健二、永井喜男、秋本典夫、高瀬茂、高瀬明、西山重光、萩原孝、大森幹夫、金子紀夫、金子輝男、高瀬茂夫、今井裕介、野村太、藤田精機(株)、中原重富、海野勘次、西島文江、平田洋一、坂本拓也

◆クリオ新横浜北自治会
クリオ新横浜北自治会

■以上518名(社・会)
682口 1,364,000円
もの多額のご協力をいただきました。この賛助会費は港北区社会福祉協議会へ納入し、新羽地区社会福祉協議会に活動交付金として還元されます。

新羽地区社協ホームページのお知らせ

以下のQRコードから新羽地区社協のホームページがご覧になれます。
広報紙(社協ニュースやふくしの和)の発行済み号がご覧いただけたり、
イベント等の報告、新羽で活動する団体のリンクなど、
新羽地区にお住まいの皆様にご「くらしに役立つ情報」をお届けして参ります。

1



QRコードを読み込むと右の画面が出てきます。
最新の情報は『お知らせ』からご覧いただけるようになっています。

2



簡単に年度別で検索!
過去資料も可能な範囲でデジタル化し、閲覧できるよう計画しています。
社協ニュース(広報紙)年2・3回発行
・新羽地区社協の活動報告
・賛助会費の使い方
・助成活動 など

3



項目から知りたい情報を簡単に見られます!
会報誌(デジタル版)
・社協ニュース
・ふくしの和
研修・施設見学
・各イベントの報告
自主活動
・児童福祉
・オレンジの輪プロジェクト
総会・会議
・年度別事業計画
・年度別事業報告
地域で活動する団体
新羽地域で活躍している団体の紹介をしています。

◆寄付ありがとうございます。
新羽町親睦ゴルフ大会実行委員長 親睦ゴルフ大会でのチャリティー金
・4月 34,000円

・11月 23,000円
ご支援ありがとうございます。
寄付金は地域福祉活動に有効に活用させていただきます。

新年おめでとうございます。
「ふくしの和」第41号は、いかがでしたでしょうか。今回も多くの新羽地区の方々からのご支援やご協力を賜り、無事に発行することができました。ありがとうございました。編集作業を進める中で、さまざまな新しい発見や学びがありました。その中で一つ、記事では載せきれませんでした。紹介させていただきます。

大新羽音頭を作った野路先生・松井さんコンビは新田小学校の校歌も作られています。新田小学校は明治時代に開校した歴史ある学校です。

校歌は昭和28年に制定とのこと。大新羽音頭は昭和30年。新羽の街の歴史を知ると面白いなと感じました。

令和八年も活気あふれる「和・輪・話」のまちなつばを皆で支えていきましょう!
広報委員一同



編集後記

印刷 有限会社シュープリント
☎〇四五一三六〇一三二四〇